

IEC TC100 モンタナ会議報告



TC100概要

IEC TC100(オーディオ・ビデオ・マルチメディアシステムおよび機器の技術分野に関する国際標準): 1995年10月に設立-2004年1月より日本が幹事国を務めており、国際幹事: 上原まひる氏(ソニーグループ)、国際副幹事: 佐久間正剛氏(東芝、2025年12月末日まで)、田中宏典氏(パナソニックホールディングス)、Pメンバー(投票権を持つ国): 19カ国、Oメンバー(オブザーバーの国): 26カ国、傘下に12のWG(Working Group)がある。なお、TC100の受託審議団体はJEITAであり、TC100国内委員会を運営している。

2025年10月13日～10月17日に米国・モンタナで、

IEC(国際電気標準会議)TC100(オーディオ・ビデオ・マルチメディアシステムおよび機器)Plenary(総会)および傘下グループの会議が開催され、活発な議論が交わされました。以下では会期中の審議・決議の中から重要な議案について紹介します。

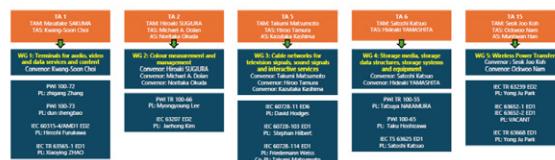


A. 組織再編

モンタナ会議では、約20年続いた、TC100独自のシステムであるTA (Technical Area) 制を廃止し、2026年1月より、全てWG制に移行することが決議されました。

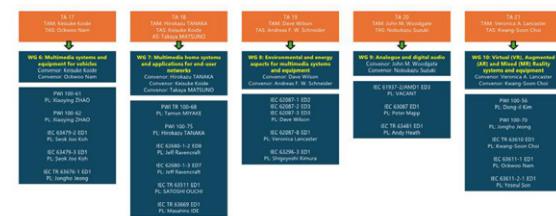
Proposed conversion of TA's to WG's – overview (1)

Work programme: as of 2025-09-03



Proposed conversion of TA's to WG's – overview (2)

Work programme: as of 2025-09-03



B. 主な規格化提案(現TA19)

IEC 63296 Part1の改定：

日本から、ポータブルマルチメディア機器-バッテリー持続時間の測定方法を定義するIEC 63296 Part1の改定提案を行いました。今回の改定は日本から提案し開発したPart 3 Wearable powered loudspeakerと定義や用語の整合をとることを目的としています(TA19/WG1)。

IEC 62301並びにIEC 63474 改定：

TA19とTC59で開発中の待機電力測定方法 IEC 62301 ED3とネットワークスタンバイ電力の測定方法 IEC 63474 ED2はCDVの100%合意を受けFDISへ進む事が合意されました(TA19/WG2)。

IEC 62087シリーズの新規提案・改定：

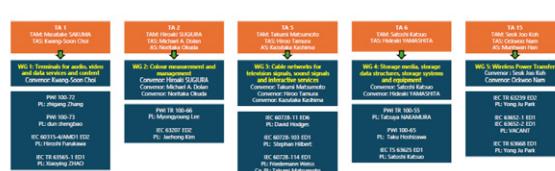
part1-3 ED3 (TVの消費電力測定方法)は修正箇所が多数あったためCD2を実施することとなりました。

また、同Part88 ED1 (Small Network Equipment)はCDが完成し11月より回覧されています(TA19/WG3)。

なお、再編後は引き続きWG8直下のプロジェクトとして活動が継続されます。

Proposed conversion of TA's to WG's – overview (1)

Work programme: as of 2025-09-03





C. TC100国際役員

2026年からの新体制と日本人国際役員は、下記の通りです。

＜新WG体制と日本人国際役員＞

WG1：音声・映像・データサービス・コンテンツ用端末

WG2：色彩の計測と管理

　コンビナ：杉浦博明(三菱電機)

　コンビナ：奥田悟崇(三菱電機)

WG3：マルチメディア対応ケーブルネット ワーク

　コンビナ：松本卓三(古河電工)

　コンビナ：田村博夫(古河電工)

　コンビナ：鹿嶋一孝(古河電工)

WG4：ストレージ媒体・データ構造・機器・システム

　コンビナ：勝尾 聰(ソニーグループ)

　コンビナ：山下英明(パナソニック)

WG5：ワイヤレス給電

WG6：自動車向けのマルチメディアシステムおよび機器

　コンビナ：小出啓介(川崎重工)

WG7：エンドユーザーネットワーク向けの

　マルチメディアホームシステムとアプリケーション

　コンビナ：田中宏和(広島市立大学)

　コンビナ：小出啓介(川崎重工)

　コンビナ：松野孝也(帝人)

WG8：マルチメディアシステムおよび

　関連機器環境とエネルギー

WG9：アナログ&デジタル・オーディオ

　コンビナ：鈴木伸和(ソニーグループ)

WG10：仮想現実(VR)、拡張現実(AR)、

　複合現実(MR) システムおよび機器

WG11：User's Quality of Experience(QoE) on Multimedia Conferencing Services

WG12：Multimedia systems and equipment for metaverse

D. 今後の予定

TC100国際幹事より、今後の予定について、下記のような説明がありました。

2026年5月：CAG会議：ハンガリー

2026年11月：Plenary会議：ドイツ

E. 国内対応

TC100で審議されるIEC規格は、AV&IT標準化委員会において審議を行っています。新規案件については、CAG対応グループを設置して検討を行っています。

F. 表彰関係

1906賞：勝尾 聰 氏(ソニーグループ)

田中宏和氏(広島市立大学)

江口 伸 氏(広島市立大学)

村上隆史氏(パナソニック)



プロジェクトリーダーとして、規格の発行に尽力

AV&IT標準化委員会

1) 社数:22社

2) 事業概要

- ・マルチメディア (AV&IT) 機器・システム分野の標準化推進とIEC TC100対応
- ・IEC/TC 100規格・ISO規格・JTC1規格の作成、提案、審議 国際会議対応 など
- ・JEITA規格・JIS規格・国内関連規格の作成、提案、審議 など
- ・上記分野の標準化方針、ビジョン、基本政策の策定と関連委員会への周知
- ・傘下の委員会間の課題解決調整、情報交換共有
- ・委員会、委員会の対外課題への対応と解決調整

3) 関係リンク先

- ・AV&IT標準化委員会 <https://home.jeita.or.jp/cgi-bin/about/detail.cgi?ca=14&ca2=384>
- ・IEC TC100 <https://iec.ch/iec100>